

入場無料

どなたでも参加できます
申し込み不要

〈通訳付き〉

ヒグマフォーラム 2015 in 札幌

ヒグマと人間の未来へ

北米からの提言

7/25 [土] 午後1時～5時

北大獣医学部講堂 (札幌市北区北18条西9丁目)

北海道ではヒグマによる人身事故や都市部への出現が相次ぎ、「人間とヒグマのあつれき」の対策がますます重要になっています。2014年からは道庁のヒグマ保護管理計画が渡島半島から全道に広がりました。

札幌市で7月26日から始まる第5回国際野生動物管理学会議 (IWMC2015)を前に、同会議に出席する北米のヒグマ専門家を招き、長年にわたる生態研究と対策の経験に基づき、北海道におけるヒグマ保護管理のあり方や方法、人材育成について意見を聞き、今後私たちが実現すべき将来像を考えます。

講演
1

「開発と害獣の歴史 — イエローストーン国立公園にみる 人間とヒグマの関係」

Frank T. van Manen

フランク・
ヴァンメイネン氏

(前国際クマ学会会長、
米国地質学調査所主席研究員)



オランダの大学からテネシー大学で学位を取り、米国地質学調査所入り。イエローストーン地域の省庁間統合ヒグマ研究チームを率いるリーダー。中国、スリランカなどの国際クマ調査にも尽力する。モンタナ州在住。

講演
2

「北米における人間とヒグマの あつれき対策とその体制」

Grant Hilderbrand

グラント・
ヒルダーブランド氏

(米連邦国立公園局
アラスカ地方事務所研究官)



海と陸の物質循環にヒグマが果たす重要性を、安定同位体を用いて解析した研究で知られる。アラスカでヒグマをはじめ野生動物全般の保護管理の研究を進め、アラスカ大学客員教授として人材育成にも努めている。

主催：ヒグマの会・北海道大学大学院獣医学研究科

お問い合わせ先 ヒグマの会事務局

〒060-0818 札幌市北区北18条西9丁目 北海道大学大学院獣医学研究科野生動物学教室内 tel.011-706-5101 e-mail:tsubota@vetmed.hokudai.ac.jp